

# 甲賀市新庁舎建設工事 工事かわら版

# 4月



甲賀市の皆さま  
 昨年8月より、工事をスタートして8ヶ月が経過しました。現在、基礎工事が順調に進んでおります。今月は免震装置の取付が行われ、4月30日には第1回現場見学会が開催されます。今後とも、工事期間中は皆さまにご迷惑をおかけしますが、安全環境に配慮しながら工事を進めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

東急・三陽特定建設工事共同企業体 所員一同

## 工事名

甲賀市新庁舎建設工事

## 設計者

株式会社 梓設計

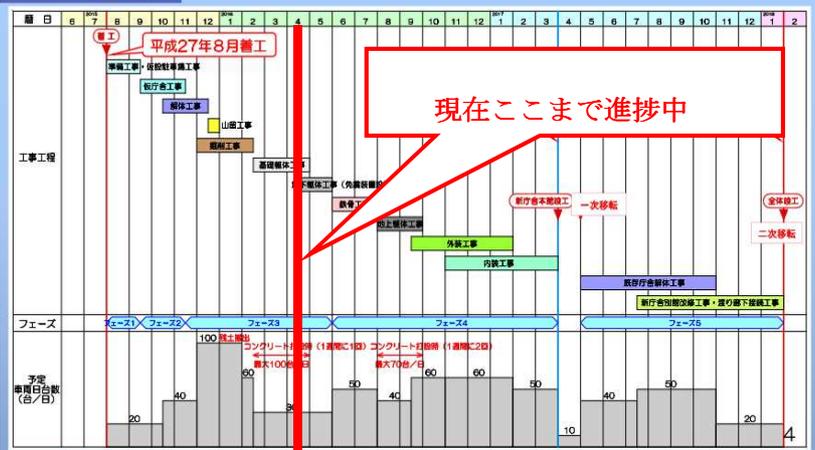
## 施工者

東急・三陽特定建設工事共同企業体

## 工期

2015.8.1～2018.1.31

## 全体工程



## 新庁舎の免震装置

免震構造とは、地盤と建物の間に地震を受け流す免震装置を設置し、建物への地震力の伝達を低減するものです。建物内の家具・什器等の転倒を抑えられ、安全性が向上します。免震装置にはたくさんの種類があり、新庁舎には「天然ゴム系積層ゴム支承」「鉛プラグ入り積層ゴム支承」「弾性すべり支承」という装置が設置されます。

		形状	特徴
免震装置	積層ゴム系 支承材		<天然ゴム系積層ゴム> ・建物の長周期化を実現。 ・ゴム自体が減衰性能を持たない絶縁部材。
			<プラグ入り積層ゴム> ・天然ゴム系積層ゴムに鉛プラグを挿入することで地震エネルギーを吸収。 ・高減衰で性能のバラツキが小さいため、免震部材のトータルコストダウンが可能。
	すべり系		<弾性すべり支承> ・積層ゴムと滑り材を一体化し、滑り板（下部プレート）と組み合わせた支承材。 ・すべりにより水平剛性を小さく一定に保つことができるため、長周期化に有効。